

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-136	24-089	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名（原題／訳）		
Lipid Profiles After Changes in Alcohol Consumption Among Adults Undergoing Annual Checkups 定期健康診断を受けている成人において、飲酒量が変化した際の脂質プロファイルの変化		
執筆者		
Suzuki T, Fukui S, Shinozaki T, Asano T, Yoshida T, Aoki J, Mizuno A.		
掲載誌		
JAMA Netw Open. 2025 Mar 3;8(3):e250583. doi: 10.1001.		
キーワード		PMID
飲酒量の変化、飲酒の開始、禁酒、低密度リポ蛋白コレステロール (LDL-C)、高密度リポ蛋白コレステロール (HDL-C)		40072433
要 旨		
<p>目的： 飲酒開始や、逆に禁酒により、低密度リポ蛋白コレステロール (LDL-C) および高密度リポ蛋白コレステロール (HDL-C) がどう変化するかを明らかにする。</p> <p>方法： 2012年10月～2022年10月の間に、東京都内の予防医療センターで毎年健康診断を受診した人を対象とした。脂質低下薬を内服中の者は除外した。2回連続の健康診断において、「飲酒開始（非飲酒継続者との比較）」と「禁酒（飲酒継続者との比較）」を解析した。標準的な1ドリンクは純アルコール10gに相当する。主要評価項目は、連続する2回の健康診断におけるLDL-CおよびHDL-Cの変化量とした。</p> <p>結果： 57,691人（平均年齢46.8歳、女性53.0%）を解析対象とした。禁酒の影響を評価したコホートは25,144人（平均年齢49歳、女性49.1%）で構成されていた。禁酒とLDL-Cの変化量には以下の関連があった。：1.5ドリンク未満/日からの禁酒：+1.10 mg/dL（95%信頼区間(CI)：0.76～1.45）、1.5～3.0ドリンク/日からの禁酒：+3.71 mg/dL（95%CI：2.71～4.71）、3.0ドリンク以上/日からの禁酒：+6.53 mg/dL（95%CI：5.14～7.91）。禁酒とHDL-Cの変化量には以下の関連があった。：1.5ドリンク未満/日からの禁酒：-1.25 mg/dL（95%CI：-1.41～-1.09）、1.5～3.0ドリンク/日からの禁酒：-3.35 mg/dL（95%CI：-4.41～-2.29）、3.0ドリンク以上/日からの禁酒：-5.65 mg/dL（95%CI：-6.28～-5.01）一方、飲酒し始めた人達（29,042人、107,880件の受診データ）では、LDL-Cの減少とHDL-Cの増加が観察された。</p> <p>結論： 日本人の健診受診者を対象とした本コホート研究では、飲酒を始めることは、コレステロールに関しては望ましい変化と関連したが、禁酒することは望ましくない変化と関連した。飲酒量を減らす際には、個人レベル・集団レベルの両方から心血管疾患リスクを最適に管理するために、脂質の変化を注意深くモニタリングする必要がある。</p>		